

図書館本の紹介



『ビブリオバトルに挑戦』『ビブリオバトルハンドブック』

みなさん「ビブリオバトル」をご存知ですか？ビブリオバトルはお気に入りの本を紹介しあうゲームで、「知的書評合戦」とも言われます。

昨年12月に2年生の国語の授業で初めて「ビブリオバトル」が行われました。プレゼンする側は「バトラー」と呼ばれ、自分の推し本を選び、その本についての魅力を制限時間内で仲間にプレゼンで伝えます。聞く側は其中で1番どれを読みたいかを考えながら聞き、参加者全員でディスカッションをした後、最後に投票でチャンプ本を決めます。

東中でも各クラスの予選を経て、本選は体育館でクラス対抗ビブリオバトルが行われました。バトラーの皆さんは緊張しているはずなのにみんなの前で堂々と発表されていて立派でした。発表を聞かせてもらって本気で読んでみたいなあ～と思いました。

ビブリオバトルの本質は、「本を通して人を知る」「人を通して本を知る」

東中の図書室をどんどん活用して本と親しんでくださいね。



『色鉛筆は丸いのに鉛筆はなぜ六角形？』

新しく買った本で、ちょっと面白いのを見つけました。「言われるまで気づかなかった」ような、日常の身近にある物の不思議をめぐる話で、「ボーっと生きてんじゃねーよ」って声が聞こえてきそうな本です。

ちなみに私のお気に入りには、「コンセントの穴は、左右で長さが違うって知ってた？」「クリアファイルの下のほうにある三角形の切れ込みは何のため？」です。「何でだろうね？」スッキリしたい人は読みに来てね。

